

台風21号被害に係る住民説明会

日時：平成30年11月2日 19:00～21:20頃

場所：潮芦屋交流センター

参加者 76名

※県土：県土整備部
 尼崎港管理事務所
 県企：県企業庁

No	質問・意見等	回答等
1	ハザードマップ作成において、将来的に沈下が見込まれているのであれば、その沈下量を見込んだ護岸高でシミュレーションを行うべきではないでしょうか。	(県土) 尼崎西宮芦屋港全域の多数の護岸が対象であり、建設年次が異なるため、ハザードマップの性質上、設計高ではなく、実測値を用いてシミュレーションすることにしました。
2	西宮浜及び芦屋浜の防潮堤の外側は着色されているのに、南芦屋浜の防潮堤の外側が着色されていないのは、なぜでしょうか。	(県土) ハザードマップを作成する上で、当時南芦屋浜においては、高潮時は、ビーチや園路には人がいないと想定し、対象外としていたと考えます。芦屋浜及び西宮浜は、防潮堤から住宅地が近く、道路があり人がいる可能性があるため、着色しました。南芦屋浜を意図的に除外したものではありません。
3	ハザードマップで、土地が数年後に沈下するのがわかっているのに、実測値を使用するのはおかしいのではないのでしょうか。	(県土) どこまで沈下するのかは不確定です。そのため、現状の中で計測した数値でハザードマップを作成する際は、その時点の実測値を採用するのが基本です。その点を理解していただきたい。今後は被害が及ばない高さまで嵩上げを行い、定点観測や対策等により、限りなく設計高さになるような管理に努めます。
4	西宮と神戸の防波堤が延長する計画があったのですが、現在も実行されていません。なぜ、防波堤の延長が今回の対策に入っていないのでしょうか。防波堤の延長は越波に対して効果があるのではないのでしょうか。	(県土) 神戸の防波堤の延伸の計画は、六甲アイランド沖の新たな埋立てがあることから、平成22年に港湾計画が変更され無くなっています。西宮の防波堤の延伸は、整備はまだですが、神戸の港湾に有効なものとなっております。両方の防波堤の延伸がなくても、計算上、越波流量は許容量を超えるものではないことを確認しており、少しでも早く実現可能な対策とするには防潮堤を嵩上げする方が、効果的と考えております。
5	国道43号から南芦屋浜までにおいて、地盤沈下を減らす工事ができないのでしょうか。	(県企) 南芦屋浜においては、沖積層という軟弱地盤に対し、サンドドレーン工法等で対策を行っています。一方で、その沖積層より下の洪積層については、学識等においてもはっきりと解明できおらず、簡単に対策が講じられるものではありません。

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
6	テトラポットを設置してはどうでしょうか。護岸を高くすると、民地に影響が生じないのでしょうか。	(県土) 消波には効果がありますが、水深が深いため、テトラポットを置くより、護岸を嵩上げする方が早期に対策ができます。なお、護岸背後に松林や宅地がある場所もあるため、護岸ごとに構造を検討していきます。
7	対策後、ハザードマップを作成すると思われませんが、南芦屋浜は、何色となるのですか。	(県土) 現在のハザードマップで想定している規模の高潮であれば、白色になります。しかし、水防法の改正に伴う想定最大規模の高潮の場合、恐らく浸水する結果になると思われま。
8	測量ミスについて、詳細に教えて欲しい。また、測量ミスがあったことにより、今回の浸水被害に影響があったのでしょうか。	(県土) 芦屋市地域で一部数値の読み間違いや転記ミスなどの初歩的なヒューマンエラーがありました。なお、測量ミスと今回の浸水は、直接的には関係ないと考えています。
9	測量が正しければ、ハザードマップは変わっていたのでしょうか。	(県土) 今となつては、当時の真の値は分かりませんが、ハザードマップは変わっていることになります。
10	業者の測量ミスが原因ですが、兵庫県に責任があるということでしょうか。	(県土) 測量業者のミスが原因ですが、その成果品のチェックができなかったことは、県として責任があると考えています。
11	台風 21 号と同じ台風がきても越波しない程度だと、今後の台風で頻繁に越波することが想定されます。第二室戸台風の 937hpa の台風が台風 21 号と同じコースを通過した際でもハザードマップが真っ白な状態にしてもらいたい。	(県土) 台風 21 号の西宮での潮位は過去最高であった第二室戸台風の T.P. +2.64m を超える T.P. +3.24m でした。この地区では、これまでの最高の台風であったと認識しており、今回と同じ台風が来ても守れるだけの対策を行っていきます。
12	2016 年 8 月に尼崎港管理事務所と芦屋市都市建設部に高潮被害の懸念から測量を行ってもらい、大丈夫との回答をもらっていましたが、そうではない状況が頻発していたことから、きちんと考え直して欲しいと伝えていたが、今回の結果に至っています。真剣に対策を講じてもらいたい。	(県土) ハード対策については、台風 21 号規模で被害が生じないように対策を講じることを基本に考えていきます。それ以上は様々なケースが想定され、すべて想定しうる最大の規模で対策をすることは、限界があるので、より大きなものに対応することはできません。

No	質問・意見等	回答等
13	<p>県が安全・安心として開発した土地を我々は購入して住んでいます。この点を考慮して、県には対策を講じてもらいたい。簡単に浸水すると命は助かっても、経済的に被害が生じます。</p>	<p>(県企) 既往最大レベルを超えた台風であり、世界的にも災害が巨大化している中で、ハード対策はもちろんのこと、自助、共助、公助を含めて、皆様と一緒に災害に強い街になるように市とともに進めたいと考えます。</p>
14	<p>防波堤についても効果があるのであれば、何年かかっても対策を講じてもらいたい。</p>	<p>(県土) ご意見として承ります。</p>
15	<p>T. P. +4. 35mを確保するとの説明ですが、護岸高が T. P. +4. 35mを超えているところでも浸水被害が生じている。結論で数値をあげるのは時期尚早ではないでしょうか。</p>	<p>(県土) 少なくとも浸水予測図で用いている T. P. +4. 35m以上で護岸を整備するということです。</p>
16	<p>T. P. +4. 35mを今後の対策に記載することで、数字が独り歩きし、その数値をもとに対策が講じられることはないのでしょうか。</p>	<p>(県土) 東西南北の護岸高さが異なるため、各護岸対策の嵩上げ高さは変わりますが、少なくとも南護岸は現状の T. P. +5. 20mより高く整備します。なお、数字が独り歩きしないように十分に注意します。</p>
17	<p>マリーナの護岸については、測量されているのでしょうか。また、マリーナも護岸を嵩上げするのでしょうか。</p>	<p>(県企) マリーナ護岸は、測量した結果約 T. P. +4. 0mです。また、マリーナ護岸についても、嵩上げを行う予定です。</p>
18	<p>護岸を全て嵩上げすることで、内水で問題は生じないでしょうか。東京都では雨水貯留管を設置し、ゲリラ豪雨等に対応できるようにしているが、そのような考えはありませんか。また、雨の排水、越波の排水をしっかり整理し、総合的に考えて、護岸を高くすること及び排水も考えて検討して欲しい。</p>	<p>(市) 今回は、大きな越波があったため、雨水排水がスムーズに行われなかった点がありますが、通常であれば、排水はできます。なお、護岸の嵩上げに伴う排水の影響については、ご意見として承ります。</p>
19	<p>南海トラフ地震が30年以内に約8割で発生するとされている中、津波と台風が同時に発生することは検討されないのでしょうか。</p>	<p>(県土) 津波と高潮が同時に発生する可能性はありますが、これらが同時に発生する確率が低いため、同時に発生することは検討しないことになっています。</p>
20	<p>地球温暖化も進んでいるのだから、危険性は高まっています。1,000年に1度、100年に1度の災害が最近よく起っているのだから、それらを想定して対策を考えて欲しい。兵庫県は、地震に対してそれぐらいの意識を持って欲しい。</p>	<p>(県土) 言われていることはよくわかります。</p>

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
21	部会では，嵩上げの高さが決まるだけでしょうか。用途や形状まで検討されるのでしょうか。	(県土) 部会では具体的な護岸の形状及び高さなどを決めることはなく，ベースとなる設計条件が決まります。それを受けて県でどのような形状で整備するかを検討します。
22	住居環境である景観を守ってもらいたいなど我々の要望もあるため，どのタイミングでそれらの要望を聞いてもらえるのでしょうか。	(県土) 部会の結論がでてからでは，時間的に窮屈になってくるため，ある程度の想定の中で，いくつかのパターンを作成して，お話をしていくなど，できる限りのご意見を聞く方向で進める予定です。
23	映像から状況を確認したとありますが，どのような映像を確認されたのでしょうか。	(市) 住民の皆様からいただいた映像や消防車から撮影した映像などを確認しています。
24	もともと壁がある状況で家を購入したわけではない。住居がすでにあることを無視しないで欲しい。	(ご意見・ご要望)
25	台風が想定より大きかったというのはわかりますが，既にハザードマップで着色されている箇所は，南芦屋浜が浸水するレベルであったのであれば，想定よりも浸水したのでしょうか。	(県土) ハザードマップは，潮位で検討を行っています。そのため，今回のように潮位そのものが護岸を超えたところはありませんが，高波による越波により，南芦屋浜などの沿岸部において，浸水被害が生じました。
26	鳴尾浜で浸水深さ 30 cm，西宮浜で浸水深さ 50 cm，南芦屋浜で浸水深さ 70 cm となっていますが，安全であると聞いていた南芦屋浜が一番浸水深さの数値が大きいのは，なぜでしょうか。 防波堤が大事だったということではないのでしょうか。	(県土) 今後検証していく必要があります。ハザードマップは潮位の高さだけで検討していましたが，今回は，高潮と波の影響により，このような浸水になったと思われれます。その原因を大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会及び部会で調査していきます。
27	我々は安心して家を購入している。現実，今回のように浸水しているため，吹上げ効果などを含めて説明してもらわないと安心かどうかわかりません。	(県土) 今回の台風の現象を，コンピューター上でシミュレーションを行って，南芦屋浜などの影響を調査しています。風の向き，角度，構造物の影響など，場所によっても異なってくるため，現段階では明確にお答えできませんが，今後，それらの事象を明らかにしていきます。

No	質 問 ・ 意 見 等	回 答 等
28	動的シミュレーションを行うことは可能でしょうか。かなりの時間を要すると思われませんが、できるのでしょうか。	(県土) シミュレーションについては、動的ではなく、静的シミュレーションで行います。動的シミュレーションを行うにはデータ不足でもあり、国から与えられるデータなどから、波の高さでどのような越波が生じていたか確認します。
29	企業庁の予算で、できる工事内容が決まってくるので、県ができないことは、国が行う必要が生じるのではないのでしょうか。	(県企) 企業庁の予算については、潤沢な予算をもっておりません。しかし、潮芦屋の中でも尼崎港管理事務所に移管している箇所があり、企業庁が管理している部分はマリーナ護岸です。それぞれの役割を踏まえて、予算を確保し、早期に整備できるようにします。
30	台風 21 号と同じというよりは、過去最大規模の現象に応じて、一番高いものを設定した上で、さらに余裕しろをもって部会で検討していただきたい。	(ご意見・ご要望)
31	沈下について、将来の沈下量をしっかりと見込んでもらい、高さを決めていただきたい。	(ご意見・ご要望)
32	ハザードマップについて平成 18 年及び平成 19 年のデータを基にして対策を検討するみたいであるが、最新のデータを用いて大阪湾港湾等における高潮対策検討委員会及び部会を誘導してもらい、街がハザードマップ上、白地になれば安全な街になると思います。	(ご意見・ご要望)